

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	都市計画法
事業開始年度	昭和9年度～		
総合計画	大項目 基本目標	05 生活環境政策「快適・活力」	
	中項目 基本施策	08 快適な生活が送れるまち	
	小項目 施策	30 秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	
事務事業名	03 都市計画総括事業		
問	担当課(室)	まち計画課	
合	職・氏名	第一係長 藤原雅弘	
先	電話	0869-64-1834	
	このシート作成に要した時間	1.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内居住者及び来訪者	
目的(何のために)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行う	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健全な市街地の形成	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	都市計画審議会事務	都市計画法に基づくもの及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査、審議、決定するための都市計画審議会の運営事務	○
	都市計画総括事務	都市の発展を計画的に誘導することにより、秩序ある市街地形成を導くための都市計画全般にかかると事務	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	35	1,214	3,752	
	必要人員費	人件費	千円	0.56人	5,984	0.52人	4,283
	事業費計			6,019	5,497	6,408	
	国庫支出金					533	
	受益者負担						
財源	繰入金	千円					
市	市債						
その他( )							
一般財源			6,019	5,497	5,875		
受益者負担比率		%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	年間開催数	説明	都市計画審議会の年間開催数		
	結果指標量	回数	1	0	0
	対前年比	%	-	0.0%	-
	活動コスト	円	6,019,000	6,497,000	6,408,000
単位当たりコスト			#DIV/0!	6,408,000	

事業の成果		Check			
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
都市計画審議会運営回数	目標値(A)	1	1	1	1
	実績値(B)	1	0	1	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	0.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
都市計画審議会運営回数/年1回					

事務事業の評価	市との関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	都市計画審議会を開催し、都市施設の名称変更等を行った						

総合評価		総合評価
都市計画は長期的な視点からまちづくりを進めるうえでの指針となるものであるが、時代や社会情勢の変化に応じて都市計画の見直しを行っていく必要がある		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	市の秩序ある発展のため、都市計画区域をはじめ都市計画について検討を継続していく						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな